

(対象期間:2017/2/6~2/10)

**[株式市場]ジャカルタ総合指数の推移**  
 (2016年1月4日~2017年2月10日)

**[株式市場]**

2月6日に発表された2016年の実質国内総生産(GDP)成長率は5.02%と2015年の4.88%から加速し、インドネシア株式市場はこれを好感し堅調となりましたが、その後は利益確定の売りが優勢となり週末にかけて弱含みとなりました。ジャカルタ総合指数は前週末比0.2%上昇の5371.67と、小幅の上昇となりました。

2017/2/3	2017/2/10	変化率
5,360.77	5,371.67	+0.20%

**[債券市場]インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移**  
 (2016年1月1日~2017年2月10日)

**[債券市場]**

市場予想を上回った米国雇用統計の発表を受けて世界的に新興国債券が堅調となる中で、週初からインドネシア債券市場の利回りは低下(価格は上昇)しました。2月8日、格付け会社のMoody'sがインドネシアの格付け見通しを引き上げたことも好感され利回りはさらに低下し、10年国債利回りは前週末比0.08%低い7.52%となりました。

2017/2/3	2017/2/10	変化幅
7.603	7.522	-0.081

**[為替市場]インドネシアルピアの対円レートの推移**  
 (2016年1月1日~2017年2月10日)

**[為替市場]**

Moody'sの格付け見直し引上げを好感し、ルピアは対米ドルで堅調となる中、トランプ米大統領の税に関する「驚異的な」計画を発表するという発言を受けて週末にかけて円安米ドル高が進んだことから、ルピアは対円で堅調となりました。

2017/2/3	2017/2/10	変化率
0.849	0.854	+0.59%

100インドネシアルピアの対円レート

出所: グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。